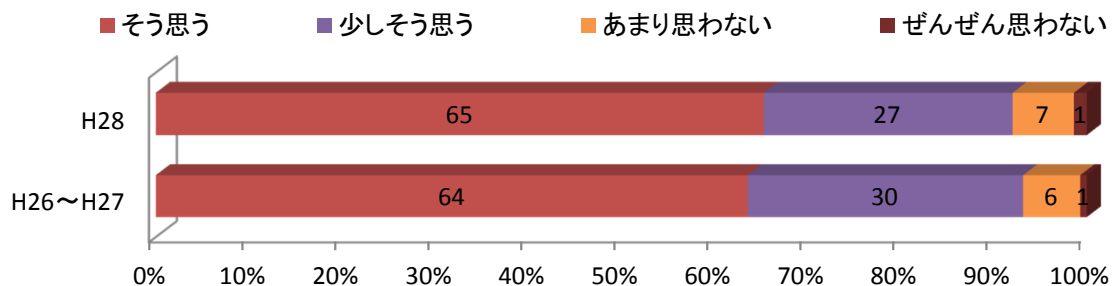
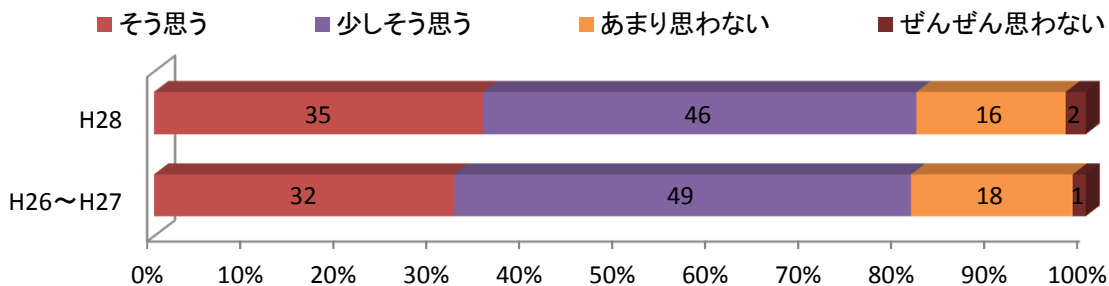


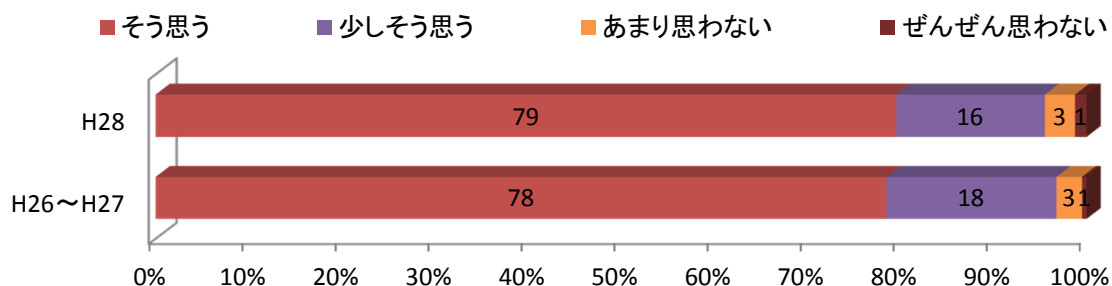
1, お子様は、学校へ行くのが楽しいと言っておられますか



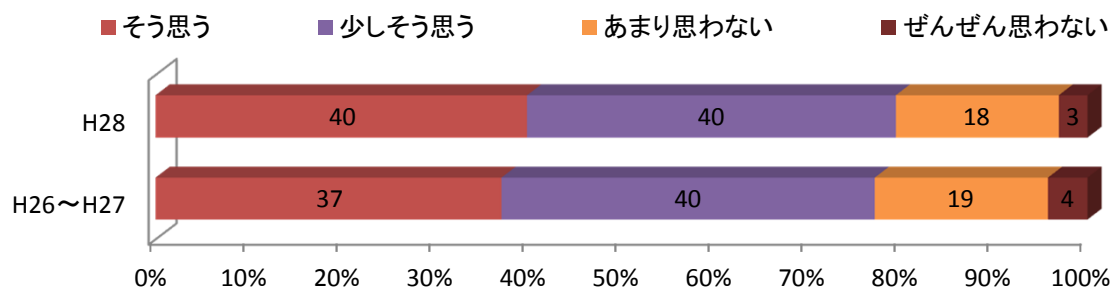
2, お子様は、学習が楽しくわかりやすいと言っておられますか



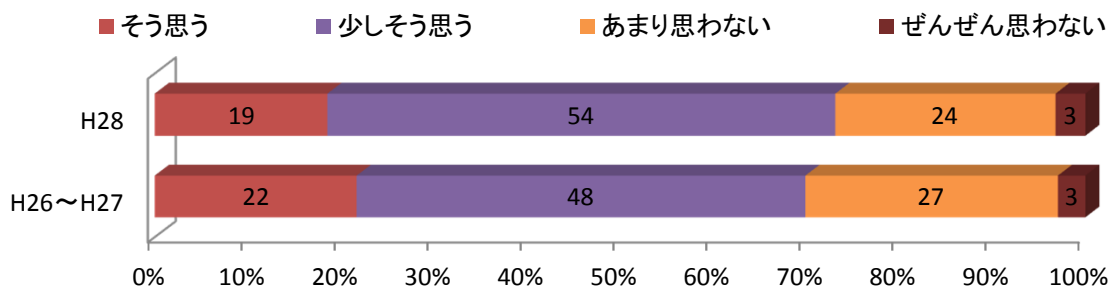
3, お子様は、学校に仲のよい友達がおられますか



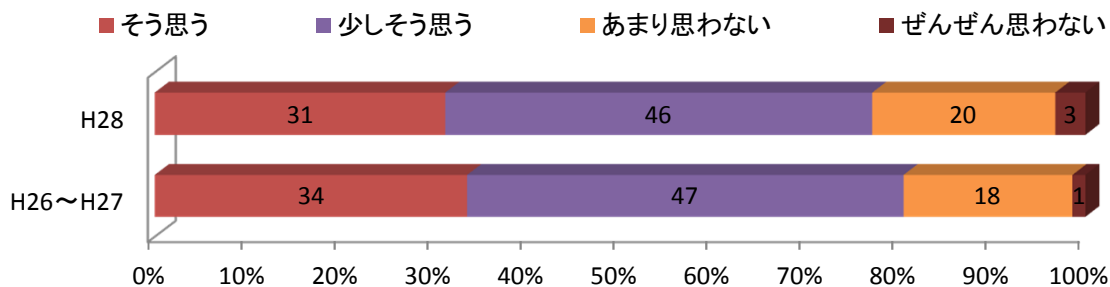
4, お子様は、家庭学習にしっかり取り組んでおられますか



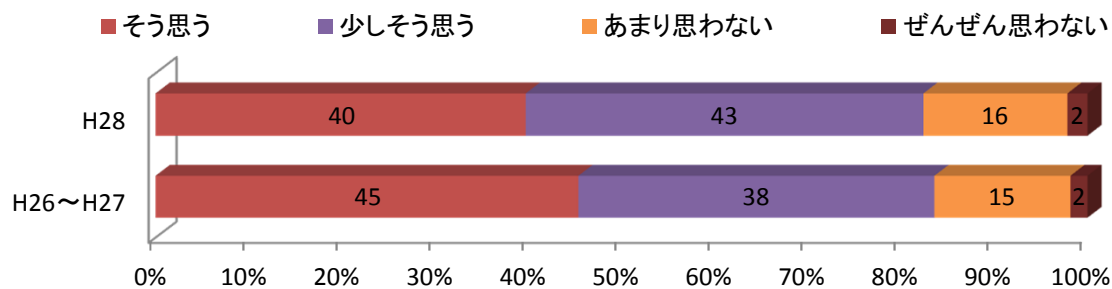
5, お子様は、正しい言葉使いで話しておられますか



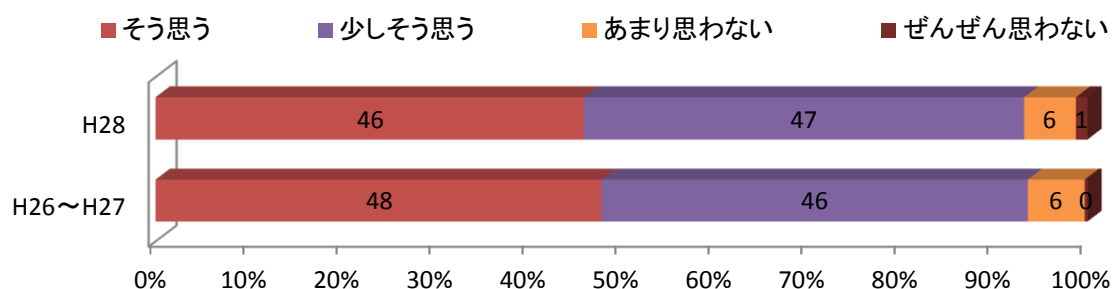
6, お子様は、あいさつがしっかりできていますか



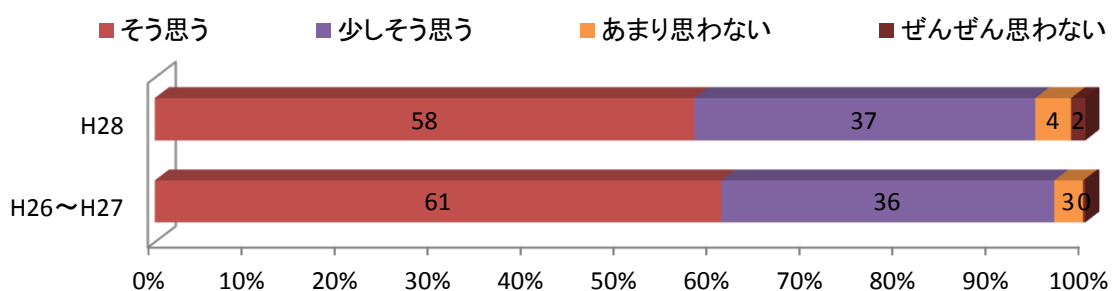
7, 教職員に、お子様のことについて気軽に相談できますか



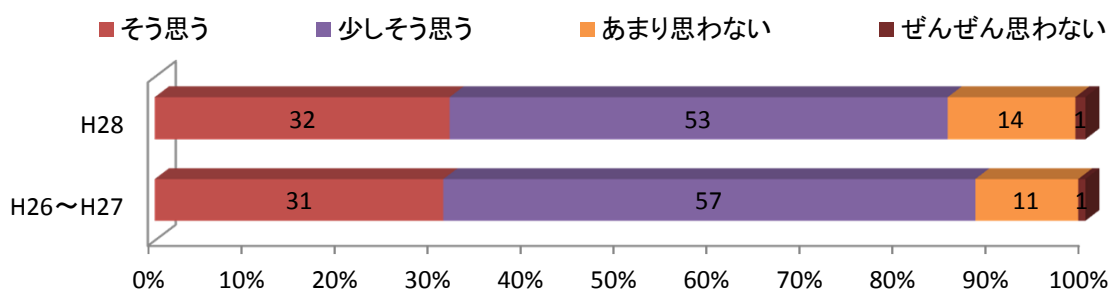
8, 学校は、子どもたちの安全確保や健康づくりのために努力していますか



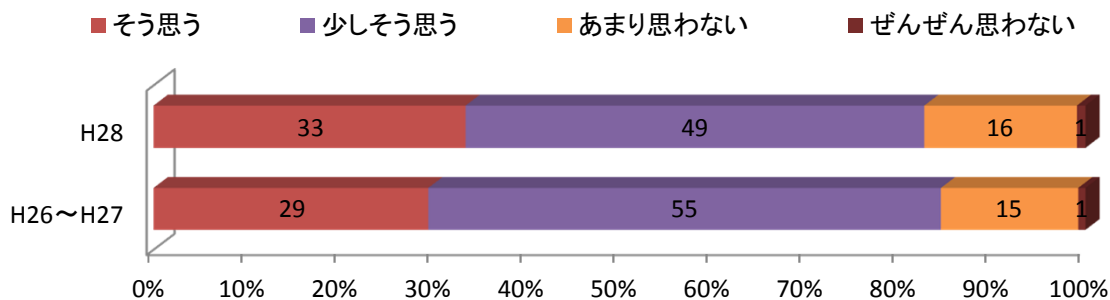
9, 学校は、学習参観や行事等を通して開かれた学校づくりに努力していますか



10, 学校は、子どもの豊かな人間性を育む、心の教育を常時実践するよう努力していますか



11, 学校は、いじめをしない、許さないという強い心構えを持って、いじめ防止に努力していますか



注: グラフ上の数値%は、小数点以下を四捨五入して示しているため、合計が100になっていない場合があります。

考察

本年度(H28年度)と過去2年間(H26~H27年度の平均)とを比較して分かってきた特徴的なことについてお知らせします。

・設問1「お子様は、学校へ行くのが楽しいと言っておられますか」では、「そう思う」と「少しそう思う」の肯定的評価を合わせると92%となり、過年度(94%)とほぼ同じ値です。このことは、児童アンケートとも同様の傾向ですが、設問2の「学習が楽しくわかりやすい」(肯定的評価81%)や設問3の「仲のよい友達がいる」(同95%)と密接に関連していると考えられます。しかしながら、「あまり思わない」や「ぜんぜん思わない」の否定的な評価も(8%)あります。きめ細かく個別の対応を充実させていきたいと考えています。

・設問4「家庭学習にしっかり取り組んでおられますか」では、「そう思う」が3%増加(37%→40%)し、「少しそう思う」を合わせると、80%が肯定的評価でした。

・設問5「正しい言葉使いで話しておられますか」及び設問6「あいさつがしっかりできていますか」では、否定的評価が約4分の1にのぼります。児童アンケート(肯定的評価80%以上)より低くなっています。

・設問7「教職員に、お子様のことについて気軽に相談できますか」では、「そう思う」が5%減少(45%→40%)しました。「少しそう思う」と合わせると過年度と同じ83%となりますが、より気軽に相談していただけるよう、教職員からもお子さんの様子についてお声かけする機会を増やしていきたいと考えています。

・設問8「安全確保や健康づくり」や、設問9「開かれた学校づくり」、設問10「心の教育」に関する学校の取り組みについては、それぞれ1~3%値が低下しています。結果を真摯に受け止め、学校での教育活動の意図やねらいをこれまで以上にお示していきたいと考えています。

・設問11「学校は、いじめをしない、許さないという強い心構えを持って、いじめ防止に努力していますか」では、「そう思う」が4%増加(29%→33%)しました。担任と連携した学年、生徒指導や、いじめ担当教員等の組織(チーム)としての対応が機能していると考えられます。今後ともご家庭と協力しながら問題の早期発見・早期対応に努めていきます。

お子様の教育で一番大切に考えておられること(記述)

挨拶をはじめとする規範意識の向上

挨拶、社会の中で通用する、ウソをつかない、マナー・礼儀・約束を守る、善悪の認識、道徳心、素直、正直、人のせいにしない

自己肯定感を養い自立した人間形成

個性の伸長、自分で考え行動する、自分の意見を正しく伝える、日々目標をもつ、成功体験を積ませる、何があっても味方だという信頼感、たくさん褒める、人に迷惑をかけない、学力、自分のことは自分でできる、チャレンジ精神、よく遊びよく学ぶ

人との関わりの大切さ

相手を思いやる心、人に優しく、人の気持ちを考える、自分がされて嫌なことを人にしない、感謝の気持ち、利他の心を育てる、心のキャパシティを拡げる、人とのコミュニケーション